

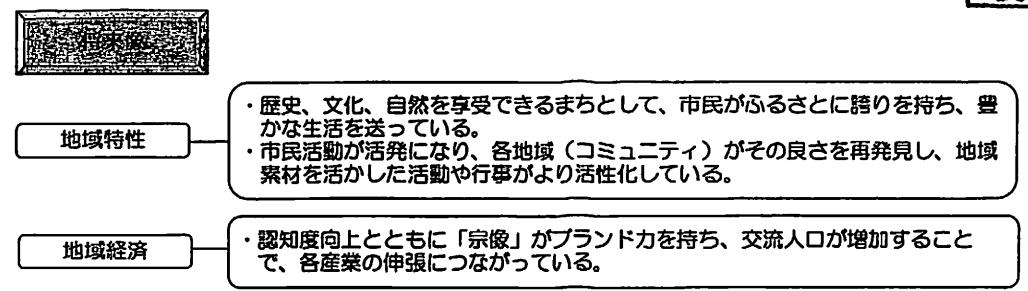
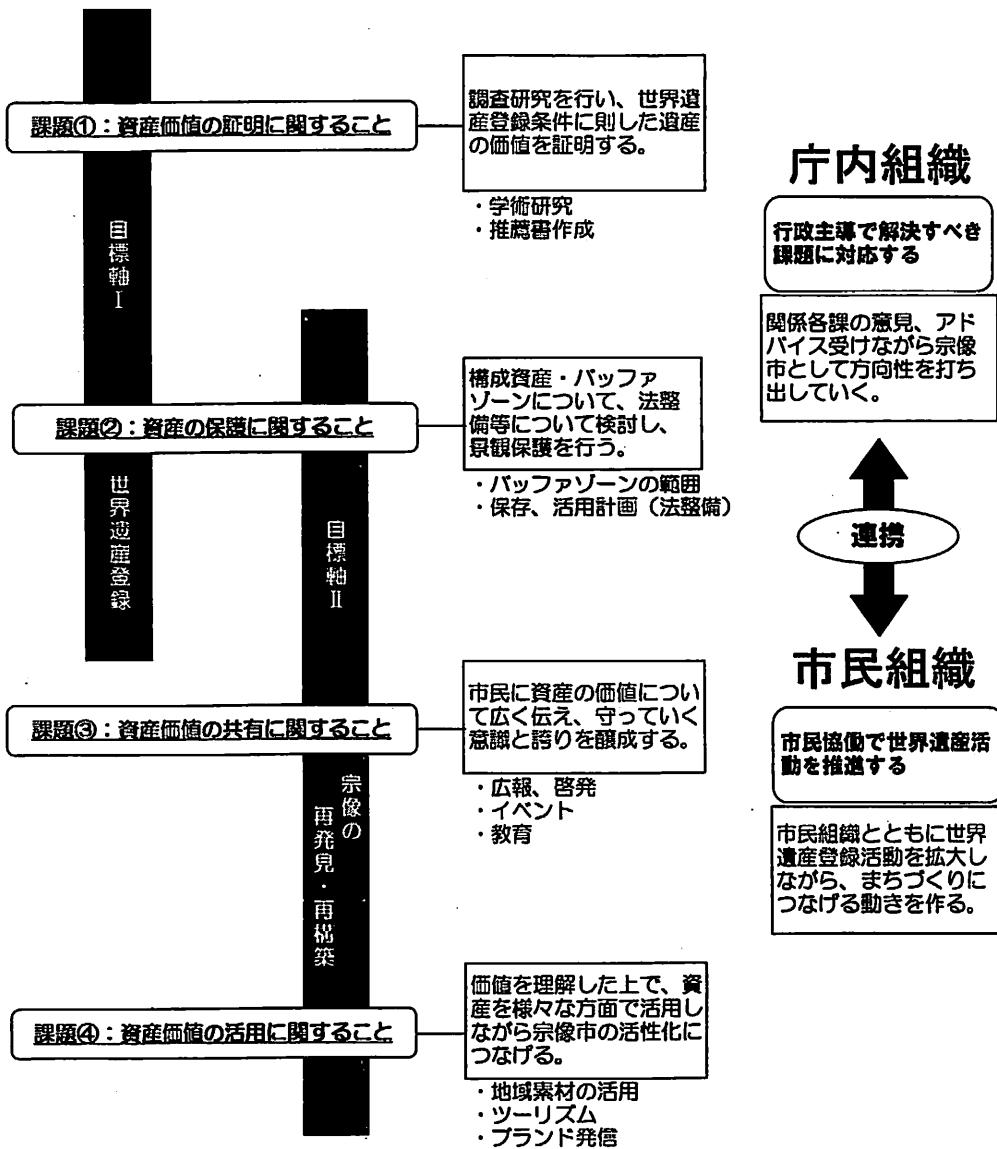
# むなかた4H2E計画

～世界遺産登録活動グランドデザイン～

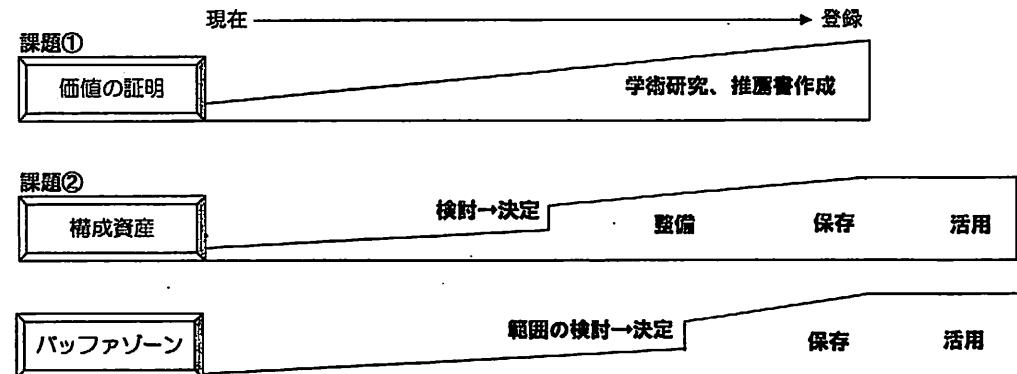
**Human, Hometown, History, Heritage, Environment, Education**  
 (ひと、ふるさと、歴史、遺産、環境、教育)

宗像市では、郷土の遺産を市民の誇りとして次世代につないでいくという目的のために世界遺産登録活動を行っている。

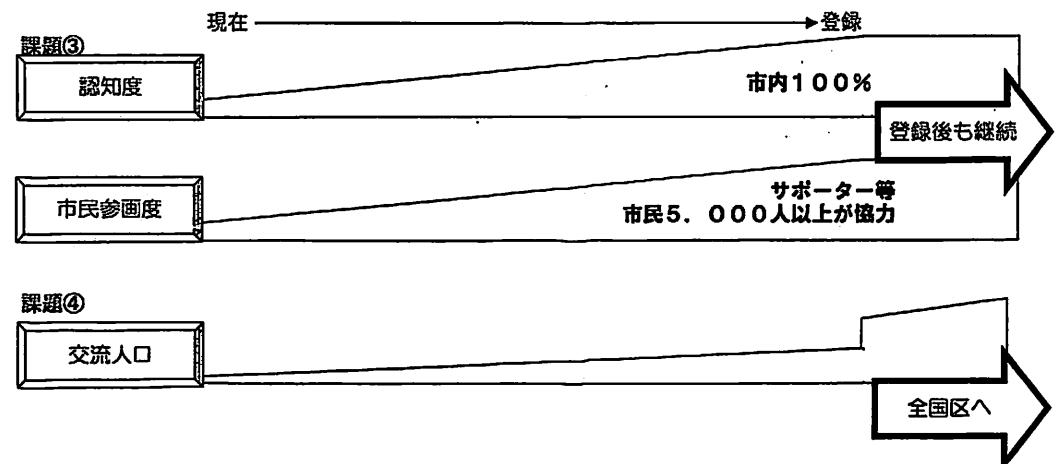
その目的達成のために、世界遺産登録と、遺産を活用した宗像の再発見・再構築という二つの目標軸を定め、府内組織と市民組織を活用しながら、今後それぞれの課題解決に取り組んでいく必要がある。



【目標軸 I = 世界遺産登録の達成度】



【目標軸 II = 市民協働によるまちづくりの効果】



## むなかた4H2E宣言（案）

世界に誇る貴重な遺産を有する宗像市。先人たちが永きに渡りつないでてきた遺産を未来につなぐことは宗像市民の使命です。

宗像市は、世界遺産登録を目指すことを許された数少ないまちです。しかし、ただ直線的に世界遺産登録を目指すだけではもったいない！

またとないこのチャンスを最大限に活かし、「むなかた4H2E計画」として、宗像市の再発見、再構築を行います。そのためには、世界遺産登録活動により多くの市民が参加することが絶対条件となります。宗像市では、市民協働のもと、以下のとおり4H2Eに取り組むことを宣言します。

### 1. Human (ひと)

世界遺産登録活動を通じて、「宗像人」を増やします。

古代、宗像氏は玄界灘を支配しヤマト王権の対外交渉を助け、日本文化の礎を築くことに大きく寄与しました。現代の宗像で生活する人々は、歴史ある郷土の誇りを再確認し、文化の発信源たる真の「宗像人」として、魅力ある宗像の発展に寄与します。

### 2. Hometown (まち)

世界遺産登録活動を通じて、魅力あるまちづくりを進めます。

宗像には、魅力ある歴史があります。魅力ある文化があります。魅力ある自然があります。魅力ある食があります。しかし、全国で「宗像」を知っている人は多くありません。世界遺産登録活動を引き金として、眠った地域の宝を活かし、新しいまちづくりに向けてチャレンジします。

### 3. History (歴史)

世界遺産登録活動を通じて、郷土の歴史を学びます。

かの岡倉天心は著書でこう述べています。「われわれは、われわれの歴史のなかにわれわれの未来の秘密が横たはつてゐるといふことを本能的に知る」と。郷土の歴史を知ることは、まさに自分を知ることです。大人から子どもまですべての人が、郷土の歴史に触れる機会を増やします。

### 4. Heritage (遺産)

世界遺産登録活動を通じて、貴重な遺産を次世代に守り継ぎます。

世界遺産条約には「文化遺産及び自然遺産のいずれの物件が損壊し又は滅失することも、世界のすべての国民の遺産の憂うべき貧困化を意味する」とあります。貴重な遺産はもはや宗像市民だけのものではありません。私たちは、この責任を自覚し、郷土の歴史を形として確実に次世代につなぎます。

### 5. Environment (環境)

世界遺産登録活動を通じて、環境への取り組みを推進します。

世界遺産には、バッファゾーンという概念があります。構成資産周辺の緩衝地帯のことで、資産周辺の環境や景観も法律で守る必要があります。しかし、「歴史と文化のまち」に恥じないように、世界遺産登録の範囲だけでなく、宗像市の自然、環境、景観を市民全員で守り、遺産とともに次世代につなぎます。

### 6. Education (教育)

世界遺産登録活動を通じて、郷土愛を育みます。

子どもたちが将来誇らしく胸を張って、「私のふるさとは宗像です」と言えるような宗像市にします。そして、郷土の誇りを全国に、世界に発信してもらいます。そのために、子どもたちが郷土のことを深く学ぶことができる教育環境を築き、郷土愛を育みます。

# 市民組織

## 世界遺産市民組織への参加による効果とワーキンググループの設置について（案）

平成22年度に発足予定の世界遺産市民組織の内部に下記のとおり専門部会を設置する。その後、より効率的な活動となるように各ワーキンググループでの活動を活発化していく。

### ① 世界遺産市民組織への参加による効果

市民団体設立の趣旨は、地域を愛し誇りに思い、遺産を守り、次世代に引き継ごうとする市民意識の向上を図り、遺産を活かしたまちづくりを行うことである。また、世界遺産登録活動に参画することで、各団体にとって様々なプラス面の効果が生まれる。これにより積極的な参加が期待できる。

#### 《各団体が得られる効果》

##### \* コミュニティ

地域資源を活かす機会を得ることができ、その中で連帯意識の強化を図ることができる。

##### \* 氏子青年会

宗像大社の祭などの文化や歴史を、より広く啓発することができる。

##### \* 青年会議所

世界遺産登録活動を通して、「明るく豊かな社会作り」という会の理念を実践できる。

##### \* 観光協会

「歴史と文化のまち宗像」の知名度が上昇し、観光客の増加につながる。

##### \* 商工会、農協、漁協

宗像市の知名度が上がり、商品のブランド化につなげることができる。

##### \* 大学

世界遺産登録活動に係るまちづくり、環境などの研究テーマを得ることができる。

##### \* 観光ボランティア、歴史を学ぼう会等

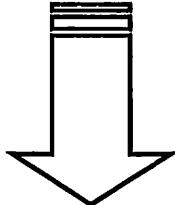
世界遺産登録活動をきっかけに、歴史に興味を持つ市民が増え、活動の活性化につながる。

##### \* 環境団体等

遺産の保護保全を啓発する中で、環境についての住民意識の向上が期待できる。

##### \* 教育団体等

次世代を担う子供たちに郷土について伝える地元学のツールを獲得できる。



市民組織全体での趣旨（地域の誇り、遺産を守ろうとする市民意識の向上）とともに、各団体の得意分野を活かしながら、それが世界遺産登録活動及び宗像のまちづくりに参画することで生まれる効果を享受できるように、ワーキングを作り活動を行っていく。

### ② 市民組織内ワーキンググループ

#### ①保存管理ワーキンググループ

\* 世界遺産活動の中で、歴史・文化・自然の将来に渡る保存、活用について考える

i) 構成資産・バッファゾーンの保護に係る法整備等についての提言

ii) 史跡の利活用やアクセス、整備等についての提言

#### ②啓発・イベント・観光ワーキンググループ

\* 世界遺産活動の啓発・PRを行い、宗像の知名度向上を図る

i) 啓発イベントの企画、実施（一般向け、子供向け）

ii) 啓発グッズの作成、HPの作成

iii) 観光ツアーの企画、観光客の受け入れ態勢作り

iv) 世界遺産の知名度を活かした商品開発（ブランド化）

・府内専門部会と市民組織との連携を密に取りながらひとつひとつの事業をすすめていく

・当初は、行政がある程度調整しながら事業を進め軌道に乗せ、世界遺産登録推進基金の活用も視野に市と団体との協働で活動に取り組んでいく

# 府内組織

## 世界遺産登録推進専門部会におけるワーキンググループ設置とその役割について（案）

平成21年度に発足した宗像市府内世界遺産専門部会について、各部署の専門分野をより一層効果的に登録活動に活かしていくためにワーキンググループを立ち上げ、運営していく。

### 1. ワーキンググループの種類

#### ①保存管理ワーキンググループ

##### 【主体部署】

市民活動推進課、コミュニティ課、都市計画課、環境保全課、農業振興課、水産振興課、地域活性化推進室等、検討議題に応じて構成する。

##### 【検討事案】

- ・バッファゾーンの範囲について
- ・バッファゾーンの法整備について
- ・史跡の利活用について

#### ②啓発・イベント・観光ワーキンググループ

##### 【主体部署】

市民活動推進課、コミュニティ課、教育政策課、商工観光課、地域活性化推進室、情報政策課等、検討議題に応じて構成する。

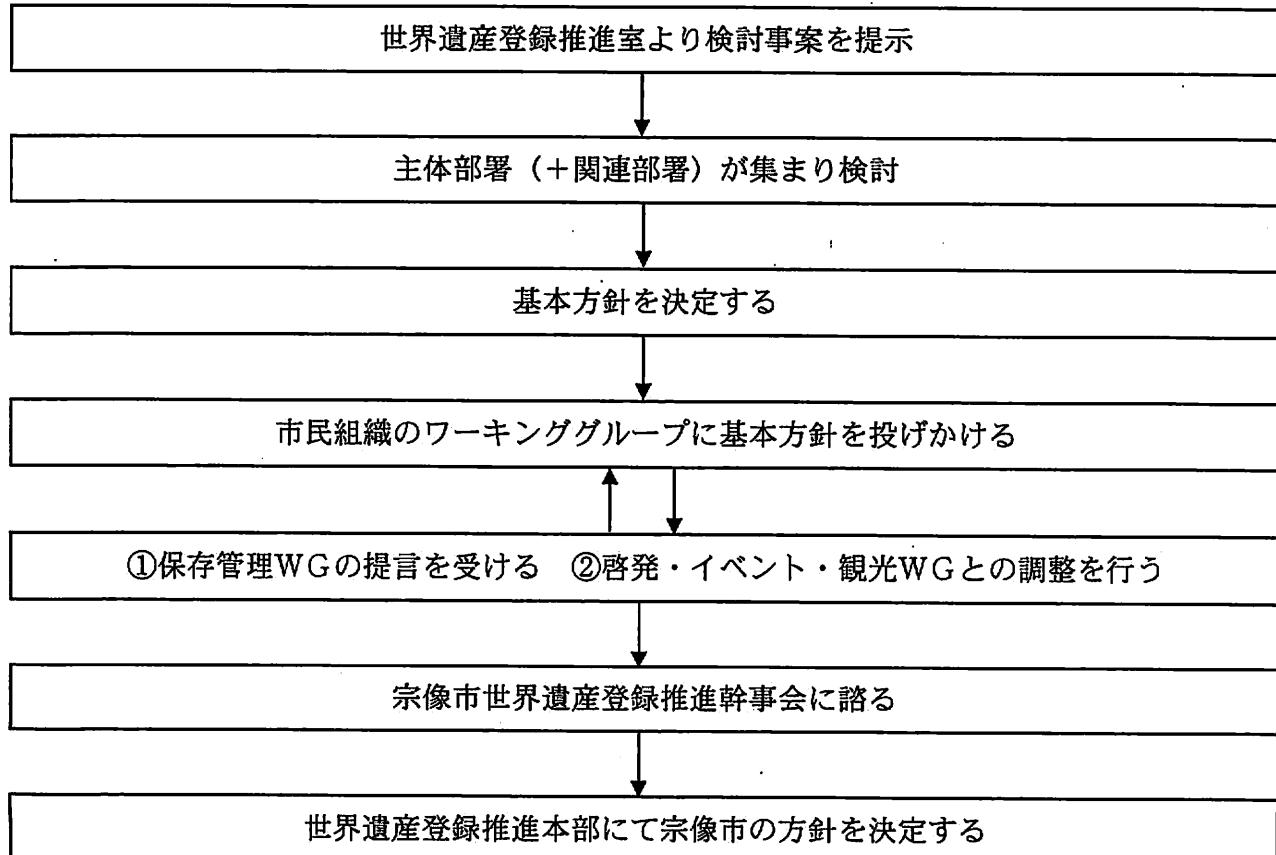
##### 【協力】

P R チャレンジ部会

##### 【検討事案】

- ・市民啓発、教育啓発について
- ・観光客の受け入れ態勢について
- ・世界遺産を活かした宗像ブランド作りについて

### 2. ワーキンググループの進め方



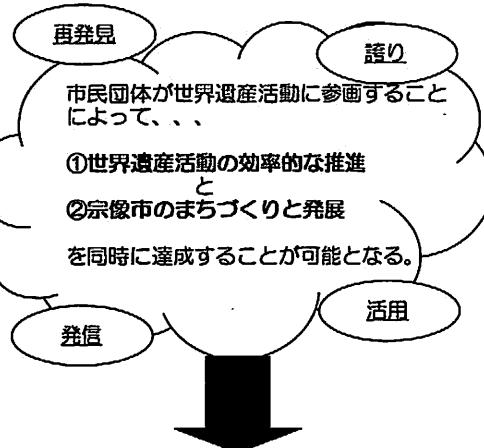
## 世界遺産登録活動の具体的な動きと世界遺産登録活動の効果

行政と市民組織の  
関わり度合い

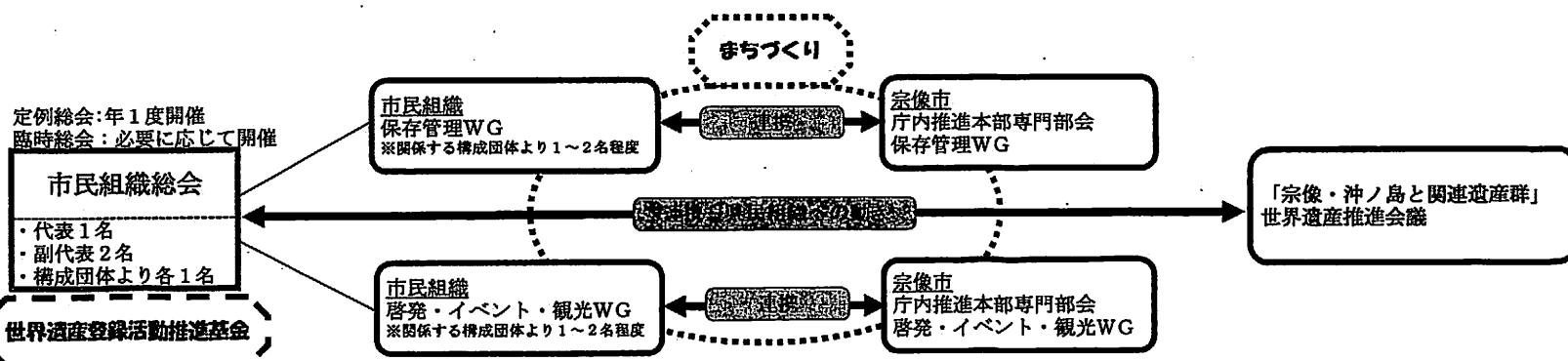
行政 ← → 市民組織  
（密接な関係）

【主な事業スケジュールと行政・市民団体の関わり方】

事業	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
<b>○ 市民組織発足</b>								
三者推進会議	調査研究				世界遺産委員会			
	構成資産							
保存管理WG	バッファゾーン 田舎石垣遺跡 郷土文化学習交流施設 大島Tミニガイドンス	意見聴取、方針検討、提言	検討	確定				
	基本計画 実施設計	基本設計	実施設計・工事	活用				
	保存管理計画	工事	オープン	施設内の世界遺産ガイダンスの造り込み、活用				
啓発・イベント・観光WG	各構成資産毎に検討・策定 意見聴取、方針検討、提言		景観条例作成	包括的保存管理計画策定、施行 景観条例施行			歴史まちづくり法(案)	
	教育啓発 一般啓発 イベント 通常啓発 観光 世界遺産ブランド		・保護者も含め学校教育での啓発普及 ・ルックルック講座等					



「市民と目指す世界遺産」  
「市民と活かす宗像遺産」



## 世界遺産推進市民組織設立スケジュール（案）

	6月				7月			
	1	10	20	30	1	10	20	31
世界遺産推進市民組織の方針についての説明、承認								
府内推進本部専門部会にて意見交換		○						
沖ノ島物語実行委員会と意見交換			○					
経営5課会議					28日(月)○			
経営会議					30日(水)○			
府内推進本部幹事会に説明						○		
市内各団体に説明、参加要請					○			→